



提供：大阪大学

福祉と テクノロジーの 未来

日時：2016.11/12〔土〕 13:00~16:00
〔12:00開場〕

場所：大分オアシスタワーホテル 3F 紅梅の間
定員：先着300名

基調講演

演題：「対話型ロボットと福祉」

講師：大阪大学特別教授 石黒 浩氏

1963年生まれ。大阪大学基礎工学研究科博士課程修了。工学博士。京都大学情報学研究科助教授、大阪大学工学研究科教授を経て、2009年より大阪大学基礎工学研究科教授。ATR石黒浩特別研究所客員所長(ATRフェロー)。社会で活動するロボットの実現を目指し、知的システムの基礎的な研究を行う。ロボット研究においては、従来、産業用ロボットにおける課題が研究の中心であったが、インタラクションという日常活動型ロボットにおける課題を世界に先駆けて提案し、研究に取り組んできた。これまでに人と関わるヒューマノイドやアンドロイド、自身のコピーロボットであるジェミノイドなど多数のロボットや、それらの活動を支援し人間を見守るためのセンサネットワークを開発してきた。

2011年に大阪文化賞を受賞。また、2015年には、文部科学大臣表彰受賞を受賞。2013年より大阪大学特別教授。主な著書に「ロボットとは何か」(講談社現代新書)、「どうすれば「人」を創れるか」(新潮社)などがある。

問合せ先/申込み先

大分大学 福祉科学研究センター
TEL/FAX : 097-554-7450
E-mail : fukusi@oita-u.ac.jp
大分市大字旦野原700番地

要事前申込み

11月8日まで

パネルディスカッション

「障害者や高齢者の地域生活を 支える福祉のテクノロジー」

コーディネーター

- 大分大学教育学部 准教授 川田菜穂子

パネリスト

- 認知症高齢者の地域生活を支えるテクノロジーとデザイン
神戸芸術工科大学 教授 相良二郎氏
- 聴覚障害者の情報・コミュニケーションのバリアフリー
全国難聴児を持つ親の会 副会長 鎌田浩二氏
- 元大分大学福祉科学研究センター 教授 棕野美智子
- 大分大学大学院工学研究科2年 山辺一輝
- 大分大学教育福祉科学部3年 和田恵利菜

手話通訳及びコミュニケーション支援アプリ「UD トーク」を使った音声認識字幕による情報支援あり

主催：大分大学福祉科学研究センター

福祉と テクノロジーの 未来

障害者や高齢者の地域生活や社会参加を支援する福祉用具や福祉機器は、近年とくにICT(情報通信技術)の発達とともにめざましく進化しています。超高齢・人口減少社会を迎えた日本において、それらのニーズはますます高まっており、なかでも高齢者の自立や介護を支援する福祉ロボットの開発・実用化は大きな注目を集めています。このような新しい福祉のテクノロジーは、障害のあるなしにかかわらず、すべての人びとの生活や意識を大きく変えていくことでしょう。

このフォーラムでは、障害をもつ人の生活を支援するテクノロジーの開発や研究、普及に先駆的に取り組んでいる研究者や実践者、ユーザーをお招きし、その現状と課題、可能性についてお話いただきます。福祉のテクノロジーで近未来の社会や地域、生活がどのように変わるのか。コミュニケーション支援アプリ『UDトーク』を体験しながら、ともに考えてみませんか。

プログラム

- 13:00 主催者開会挨拶
- 13:05 基調講演
「対話型ロボットと福祉」
大阪大学特別教授 石黒 浩氏
- 14:05 休憩
- 14:20 パネルディスカッション
- 16:00 閉会

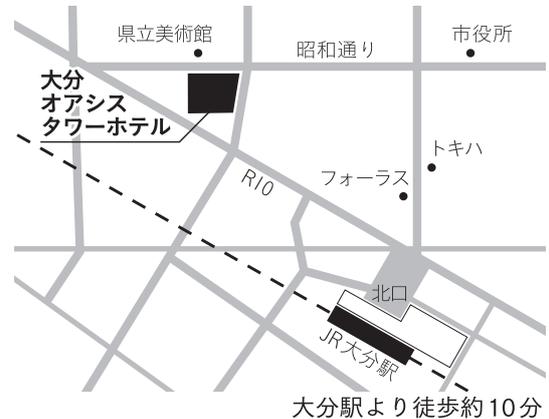
対象者

テーマに関心のある方300名
ただし、事前申し込みが必要(11月8日まで)

*当日は、大分県立美術館とiichiko総合文化センターの間の道路が10:00~15:00の間、全面通行止め(歩行者天国)となります。申し込みをいただいた際に周辺の地図をお送りいたします。

申し込み期限 11月8日 [火]

FAXもしくはメールで申し込みをお願いします。
参加者が定員に至った場合は、期限前に申し込み受付を締め切ります。
定員に満たない場合は、当日参加も可能です。



E-mail : fukusi@oita-u.ac.jp

FAX申し込み記入欄 FAX : 097-554-7450

所属先			
代表者氏名	(フリガナ) お名前	参加人数	人
代表者連絡先	電話番号		
	メールアドレス @		

*お預かりしたお客様の情報は本フォーラム以外では使用いたしません。